



第65回 新潟県美術展覧会「佐渡展」開催

会期 7月8日(木)~12日(月)
午前9時~午後6時

会場 佐和田体育館

前売り券 一般400円(当日券450円)

※大学生・高校生以下無料
教育委員会社会教育課、各地区公民館、アミューズメント佐渡、佐渡中央図書館等で販売中

作品鑑賞会 7月10日(土)

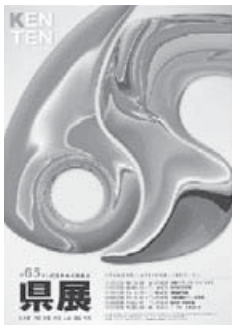
午後1時30分~午後3時

- ・「日本画、洋画、彫刻」講師：田中足穂さん
- ・「版画」講師：小林寿一郎さん
- ・「工芸」講師：長浜数義さん

※長浜さんの作品鑑賞会については、日時は未定です。
詳細が決まりましたら、CNS等でお知らせします。

お問い合わせ 教育委員会社会教育課 (社会教育係)

☎27-4170 (両津支所内)



佐渡出身の仲川恭司さんが「書道」の審査員に

財団法人独立書人団理事長の仲川恭司さん(金井 中興出身)が、県展「書道」部門の審査員を務めます。

【略歴】専修大学文学部教授、財団法人独立書人団理事長、財団法人毎日書道会理事。第1回手島右卿賞、第33回毎日書道展会員賞



受賞。佐渡では1991年に旧金井町で仲川恭司近作書展開催、2003年第19回全国天領ゼミナール記念講演、2004年金井町名誉町民顕彰記念碑文揮毫など。

市役所応接室に仲川さんの作品が飾ってあります



“東京両津の会”

第48回総会・懇親会を開催!

去る4月25日、東京・信濃町「ジョン万次郎」において“東京両津の会”の総会・懇親会が開催された。この会は旧両津市出身者を母体とする郷土会で、今回は北は鷺崎から南は水津まで総勢190余名というかつて無い規模での総会となった。

また、来賓には佐渡からも高野佐渡市長、増野両津支所長をはじめ、齋藤甲子郎様、親松東一様、川口徳一様など大勢の方々にご参加いただいた。

総会では、塚本寅夫新会長の挨拶のあと高野市長、増野支所長から佐渡の近況が報告され、来場者の郷愁を誘った。

懇親会は増野支所長の乾杯の音頭で始まり、郷土の食材を使った懐かしい料理に舌鼓をうち、おいしい故郷のお酒を楽しんだ。

ステージでは恒例のまぐろ解体ショー、湊・夷出身者有志による「湊木遣り」、若波会の皆さんによる懐かしい郷土民謡踊り、最後に「輪おどり」で会はさらに盛り上がった。定番の佐渡おけさの他、両津甚句も追加され、まさに故郷の盆踊りを彷彿とさせる光景であった。参加者全員が一体となって佐渡を堪能した一日となった。

(文責：東京両津の会 小路 徹)



随想

ゆめ飛行

No. 44

佐渡市長 高野宏一郎

渡邊教育長退任

このたび渡邊剛忠教育長が退任されることになり、送別の宴が開催されました。

渡邊教育長は昭和39年3月に新潟大学教育学部を卒業され県立佐渡高校校長を最後に永く教職畑を歩まれ、その経験からお願ひして平成18年から佐渡市の2代目の教育長に就任していただきました。

教育長として渡邊さんは誠実に児童・生徒の心を大切に「学力・体力の向上」と、「佐渡学」の確立や世界遺産の登録に向けて、県と協力してその道筋を確かなものにされました。また準備が進むジオパークの進捗にご自分の深い知識を存分に活用され、現在進捗状況は著しいものがあります。

また特筆すべきは学校統合に当たって教育的見地から学校のあるべき姿について直接地域に入って議論を戦わせ、難しい調整に粘り強く理解を進める手法は、本当に頭の下がる思いでした。時として対立する地域との話し合いに、毎晩のように現場に出られて居られる姿がまぶたに残っています。

在職中は激務が続く中ではかなわなかった奥様孝行を充分なされますようにお祈りしています。本当にご苦労様でした。

